

広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ

Hosokawa × Beethoven

6

「被爆75年」「ベートーヴェン生誕250年」が交差する2020年。
広島にとってかけがえのない二人の作曲家の出会いを下野・広響がプロデュースする
〈Hosokawa×Beethoven〉シーズンII

2020.8.27 [木] 18:45開演 (17:45開場) **JMSアステールプラザ大ホール**

Thu Aug 27, 2020 Start 18:45 (Open 17:45) JMS ASTER PLAZA

program

ベートーヴェン: 序曲「コリオラン」作品62

Beethoven: Coriolanus, Overture Op. 62

細川俊夫: 悲歌—エレジー— ヴァイオリンと弦楽オーケストラのための

Toshio Hosokawa: "Hika" —Elegy— for Violin and String Orchestra

ベートーヴェン: 交響曲第6番へ長調作品68「田園」

Beethoven: Symphony No. 6 in F major Op. 68 "Pastoral"

コンサートマスター: 佐久間 聡一 Concertmaster: Soichi Sakuma

■ チケット料金 / S席:5,300円 A席:4,300円 B席:3,300円 (学生:1,000円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット取扱い / JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、ローソンチケット(Lコード:62807)、

チケットぴあ(Pコード:175-013)、広響事務局

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催 / 公益財団法人広島市文化財団

協賛 / 中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援 / 広島市、広島市教育委員会



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
~“讃” 平和を讃えて~

指揮: 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono



ヴァイオリン: 正戸 里佳

Violin: Rika Masato

助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ / 広響事務局 TEL: 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

新型コロナウイルス感染防止対策
について皆様へのご協力のお願い



広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven

6

指揮:下野 竜也 *Conductor: Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレエ響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任(2020年3月まで)。

2002年出光音楽賞、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日録音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ヴァイオリン:正戸 里佳 *Violin: Rika Masato*

広島市出身。10歳でルーマニア・モルドバ・フィルと共演。2006年パガニーニ国際コンクール第3位。2016年ドミニク・ペカット国際コンクール第1位および聴衆賞受賞。広島大学附属中学校卒業。桐朋学園女子高等学校を首席卒業後、同大学ソリスト・ディプロマ特待生を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程を首席卒業後、最高課程を修了、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学修士課程アーティストコースを修了。現在はパリを拠点に国内外の多くのオーケストラとの協演やリサイタルを重ねている。バンク・ポピュレール財団アーティスト。2018年にデビューCD『パリのヴァイオリン・ソナタ集』(キングレコード/レコード芸術準特選盤)をリリース。JAL国際線機内オーディオにも搭載され、2019年～2020年には上野の森美術館と兵庫県立美術館で開催されたゴッホ展の音声ガイドにも使用された。また、2018年度に「ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全10曲 3回シリーズ」(共演:岡田将)を完遂し、大好評を得た。今後ますますの活動が期待されている。

オフィシャルHP

<https://rikamasato.com/>

オフィシャルFacebook

<https://www.facebook.com/rika.masato.violin/>



Affinis
emblème

下野竜也と広島交響楽団による「ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ」2シーズン目。各回ベートーヴェンの交響曲を番号順に一曲ずつ、それに地元広島市出身の細川俊夫の作品を組み合わせる。会場は、1200席のJMSアステールプラザ大ホール。ベートーヴェンのみならず、細川作品もじつに親密さをまとうて響く。現代作品であることをさほど意識させることなく、音楽そのものに耳を傾けることができる素晴らしい機会だ。今シリーズは福川伸陽などソリストも豪華。洗練と躍動する下野のスタイルが、広響ならではのソフトな響きと相まって、自然な呼吸感が宿ったベートーヴェンを生み出す。このオーケストラでは、当シリーズで初めてブライトコプフ新版を使用したこともあり、慣れているはずの作品にも新鮮な気持ちで取り組んでいることは、これまでの演奏からもよく伝わってくる。6月公演では、習作であり、滅多に演奏されないピアノ協奏曲第0番を小菅優と協演するの大きな話題だ。

(アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 鈴木 淳史)

次回ディスカバリー・シリーズのご案内

ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven 7

2020.10.2 (金) 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

指揮:下野 竜也 チェロ:岡本 侑也

Program

ベートーヴェン:序曲「命名祝日」作品115
細川俊夫:昇華 チェロとオーケストラのための(日本初演)
ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調作品92